

令和7年度 第4回 富塚中学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和8年2月18日（水） 14時30分から16時00分まで
- 2 開催場所 富塚中学校 2階会議室
- 3 出席委員 金原 圭吾、安間 忠雄、久保田 智彦、池谷 忠彦、行森 瑞恵、田口 美貴子、山本 由佳
- 4 欠席委員 池谷 定康、平出 謙介
- 5 オブザーバー 関 イチロー（市議会議員）、松下 慧太（富塚協働センター主任）
- 6 学 校 松原 通恭（校長）、廣野 幸恵（教頭）、岩岡 正紘（教務主任）、伊澤 孝浩（生徒指導主事）、藤原 啓子（CS担当職員）、岩邊 三幸（CSディレクター）
- 7 傍聴者 2名
- 8 会議録制作者 CSディレクター 岩邊 三幸
- 9 議長の選出

山本委員が、本日の議長を務めることを申し出、全員異議なくこれを承認した。

10 協議事項

- (1) 学校関係者評価について
- (2) 学校運営協議会 自己評価表について
- (3) 来年度の学校運営基本方針について
- (4) 夢育やらまいか事業CS加算分報告

11 会議記録

司会の教頭から、委員総数9人のうち7人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 学校関係者評価について

議長の指示により、教務主任から別紙資料に基づき、生徒・保護者・教職員の三者に実施した「学校評価アンケート」の結果と考察、及びそれを踏まえた改善方法について説明があり、委員からは以下の意見があった。

- ・ 「学校だよりやホームページ、ブログ等による情報発信」の評価が昨年度より上昇している。（安間委員）
  - 行事や学校生活の様子等の情報発信の機会を増やしたことも影響していると考えられる。（生徒指導主事）
- ・ ホームページの閲覧結果は、保護者の学校への関心の高さの表れであり、教職員の取組が成果として示されている点は評価できる。（金原委員）
- ・ 「学校は楽しく、安心できる場所である」の項目が昨年度より上昇している。（安間委員）
  - 特別な取組があったというよりも、日々の学校生活の積み重ねにより、生徒が楽しく生活できていることが、結果に表れているのではないかと考える。（教務主任）

- ・ ボランティア活動を積極的に推進しているにもかかわらず、三者ともに評価が十分とはいえないことから、活動への参加に偏りがなくと考えられる。生徒だけでなく、保護者・教職員も含めた協力体制の充実が必要である。(久保田委員)
- ・ 教職員アンケート項目「生徒が地域の行事や活動、ボランティア活動に積極的に参加できるよう支援している」について、肯定的回答が50%を下回っている理由を確認したい。(金原委員)
  - 本校では資源物回収や地域行事、部活動の地域貢献等、継続的に地域参画が行われており、卒業後も参加する生徒がいるなど、地域との連携は定着している。昨年度末に校内で実施した別のアンケートにおいても、生徒はこれらの活動を日常の中の当たり前の取組として受け止めており、改めて「ボランティア」として強く意識していない傾向が見られた。一方で、地域との関わりについては前向きな意見が多く、今後も継続して取り組みたいという声が多く挙げられている。(CS担当職員)
    - 教職員間では取組内容の共有はしているものの、実際に活動を見る機会は十分とは言えない。今後は教職員の意識を高めつつ、生徒がより自主的に地域へ参加していく仕組みを整えることが来年度の課題である。(CS担当職員)

続いて、生徒指導主事より、本校のいじめ対策及び今年度の取組状況について報告があり、委員から次の意見があった。

- ・ 小さなきっかけから人間関係が変化することがあるため、引き続き注意深く見守る必要がある。(金原委員)
- ・ いじめとして認知されているもの以外に小さなトラブルはあるのでしょうか。(安間委員)
  - たくさんではないが、そういった小さなトラブルはある。しかし、本校の生徒は互いの違いを認め合い、話し合いにより関係を築こうとする姿勢があり、家庭においても、子供の人間関係について助言がなされている様子が見える。そのため、小さなトラブルはあるものの、仲間外れや悪口など、いじめと捉えられるような重大な事案に至るケースはほとんどない。(生徒指導主事)

## (2) 学校運営協議会 自己評価表について

議長の指示により、教頭から、別紙資料に基づき学校運営協議会自己評価表について説明があり、評価項目に沿って、今年度の振り返りを行い、成果と課題を共有した。その後、金原会長より来年度の取組目標について確認を行い、次の通り設定することとした。

- ・ 学校、家庭、地域が一体となって、生徒の学びを支える協働体制を強化する。
- ・ 学校運営協議会の活動内容の周知を図り、地域との連携を深める。

以上の内容を委員間で確認し、来年度に向けた方向性を共有するとともに、具体的な取組についても協議を進め、連携の充実を図っていくこととした。

## (3) 来年度の学校運営基本方針について

議長の指示により、校長から別紙資料に基づき、来年度の学校運営基本方針について説明があった。

来年度は、これまで大切にしてきた理念を基盤とし、大きな方向転換を図るものではなく、現行の方針を整理・充実させた内容であることが示された。

学校教育目標「自ら考え、進んで実践し、共により良く生きる生徒の育成」を基本とし、本校の校訓である「感謝・探究・実践」を柱に据え、「心優しく」という視点を加えたこと、また、「富中プライド」や「当たり前のことを当たり前に行う」という姿勢を引き続き重視するとともに、目指す学校像として、グランドデザインに示された「緑の風が吹く学校」を掲げた方針であることが説明された。

重点施策としては、安全・安心の確保に向けた取組の見直し、引渡訓練の実施、登下校時刻の調整、授業アンケートの実施による授業改善、40周年を節目とする学校行事の工夫等が挙げられた。

あわせて、教職員の働き方についても課題認識が示され、業務改善に努めていく考えが示された。

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

#### (4) 夢育やらまいかCS加算分の報告について

議長の指示により、慶野教頭から別紙資料に基づき、夢育やらまいか事業に係る加算分の執行状況について報告があった。

本事業は、学校運営協議会の意見を踏まえ、地域人材の活用や未来授業、職場体験等の取組に充当した旨の説明があった。

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

### 12 報告（学校支援コーディネーター）

行森委員より、3年生を対象とした受験面接練習（コムスク面談）に面接官として参加した際の報告があった。

その中で、生徒に「富中の良いところ」を尋ねたところ、「挨拶ができるところ」「ボランティア活動に積極的に取り組んでいるところ」「先生が真摯に相談に乗ってくれるところ」等の声が挙げられ、生徒が学校に誇りを持っている様子がうかがえたとの報告があった。

### 13 連絡事項（教頭）

#### (1) 学校運営協議会委員の退任について

安間委員、行森委員の2名が、任期満了に伴い今年度をもって退任される旨の報告があり、これまでのご尽力に感謝の意が述べられた。

#### (2) 来年度の学校運営協議会開催予定について

別紙資料のとおり、令和8年度学校運営協議会の開催予定について案内があった。

次回会議は、5月13日（水）14時30分より2階会議室にて開催することが確認された。

#### (3) 卒業式及びCS研修会について

令和8年3月18日（水）に举行される卒業式について、委員各位に出席依頼があった。

また、2月25日（水）にオンラインで開催される学校運営協議会委員研修会の配布資料について案内があった。

以上をもって、第4回学校運営協議会を閉会した。